

# じぼさんぶつ 地場産物だより ~いちじく~

メイドイン みやこ プロジェクト

2014年9月 NO.2 みやこ町学校給食小委員会



## メイドインみやこプロジェクト

このプロジェクトは、みやこ町内で作られたおいしい野菜や果物をみなさんに食べてもらおうとする取り組みです。みなさんがいつも見ている畑でとれた物かもしれませんよ～！！

## とよつかじゅぶかい 豊津果樹部会

とよつかじゅぶかい 豊津果樹部会は今年度で設立30年を迎える歴史ある部会です。部会員数は16戸。全部会員がいちじくを栽培しています。



▲みなさんでいちじくについて勉強会をしている様子。

## 旬の味

近年、福岡県ブランドのいちじく「とよみつひめ」という品種が有名となっていますが、みやこ地区では、昔から「蓬萊柿」という品種が主に栽培されています。みやこ町を含めた京築地区は福岡県で一位のいちじくの栽培面積を誇っています。

「蓬萊柿」は、ザクッ！とした食べごたえのある食感と鼻をゆける独特の風味、さわやかな甘みが特徴で、みやこ町管内の直売所や北九州、中国地方、東京でも人気のいちじくです。

9月18日に給食用としていちじくを届けていただく繁永さんご夫婦にお話をうかがいました。



生産者：部会長の繁永定雄さん・みどりさんご夫婦

## 【いちじくの栽培方法】

**収穫**：8月中旬～11月上旬（朝と夕方の2回収穫）

8月～9月の間はとても暑いため、果実が傷みやすく、朝4時から収穫しています。

**剪定（枝切り・刈込）**：12月～2月

収穫が終了し、葉っぱが落ちた12月から枝を切っていきます。これは大きな果実をたくさん収穫するために行い、雪が舞う寒い中に行います。

**枝の間引きと誘引**：4月～5月

いちじくは枝の節に必ず一つ実がなります。一枝に新芽（新しい枝）が4～5になるように減らしていきます。そして、風にゆれて枝が傷まないようにするため、枝をワイヤーにそわせていきます。

## やさしく収穫

いちじくはとっても繊細な果物です。実がひらきすぎると傷みやすいので、少しひらいたものを収穫します。収穫の時は手袋をして、やさしくねじってとります。

